

北山城跡 第2次 (No.14)

4区の検出作業開始



竪穴住居跡 2棟 (黒い土の部分)

4区の人材による遺構検出が始まりました。4区は3区の西に位置する調査区です。前回紹介した2区ほど急ではありませんが、斜面が大部分を占めています。このような斜面は、一見すると人の居住にはあまり適していないように思えるのですが、検出を行うと、くっきりと竪穴住居の跡が見えてきました。



まだまだ出てくる竪穴住居跡

斜面のため土砂が流出しており、完全な形では残っていませんが、さらに別の位置で2棟の竪穴住居跡を見つけました。土坑(大きめの穴)もいくつか見つかっています。

これらの遺構からは、今のところ弥生時代末の土器片が出土しており、丘陵上(1区)で見つかっている集落と時期は重なるようです。

なお、これまで「竪穴住居」と一律に記述してきましたが、全てが「住居」とは限りません。

場合によっては、物置小屋や作業小屋(工房)などと呼んだ方がいい場合もあります。丘陵の上と下でこれらの「竪穴住居」がどのような関係にあったのか、今後の調査で手がかりが見つかるでしょうか。ご期待下さい。



イメージキャラクターができました

今年度の北山城跡の発掘調査もいよいよ大詰めとなってきました。このような終盤になって、なんと「北山城跡発掘調査イメージキャラクター」ができました。北山城跡の発掘調査は今後も継続される予定ですから、PRなどに頑張ってもらいたいと考えています。

なまえは「きたん」です。よろしくね!

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号:059-363-3195/ファックス:059-363-3196

E-mail:maibun@pref.mie.jp

担当: 勝山孝文・矢田陽・宮原佑治